

東日本手の外科研究会ニュース

Newsletter of Eastern Japan Society for Surgery of the Hand

平成17年7月31日号

July 31, 2005

●●●ご挨拶

第20回東日本手の外科研究会は平成18年2月10日（金曜日）に山梨県甲府市の「ウェルシティ甲府」で開催いたします。手の外傷・疾患は整形外科の第一線の診療所や病院の日常診療で、比較的遭遇することが多いものの1つであります。そのような観点から、今回は幹事の先生方のご意見も参考にさせていただいて、日常の整形外科診療の中で遭遇する頻度が高いと思われる4つの疾患を主題として選びました。

なかでもCRPSは、今年2月に落合教授が主催された19回の本研究会ではシンポジウムとしてとり上げられました。また、平成16年の秋に東京で菊地教授が主催された第19回日整会基礎学術集会でもシンポジウム「痛みの解明と制圧」で、その診断上の問題点について私自身が発表させていただきました。このように各学会ではCRPSが注目されるようになっていますが、本症の診断・治療法については十分な知識の普及と意見の統一がないのが現状であります。今回は、主題としてできるだけ多くの方々から本症候群の診断・治療に関する発表をいただいて、ある程度の方向性のようなものが見えてくることを期待しております。

教育講演はRichard A. Berger先生にお願いいたしました。横浜で開催された今年の日整会でお会いしましたが、「よろこんでお引き受けする」とのご返事をいただいております。

そのほか、広島県身障者リハビリテーションセンターの水関隆也先生には「RA肘に対する手術」、岡山大学整形外科の佐藤徹先生には「上肢骨折に対するLCP」というタイトルのご講演をいただきます。

甲府は、雪が降ることは稀で、このシーズンでもほとんどのゴルフ場ではプレーが可能です。池に落ちたボールがグリーンにあるなどの幸運に恵まれるかもしれません。また温泉などご家族でお楽しみいただける施設も数多く、スキー場へも1時間以内で行くことができます。研究会の翌日からは2連休ですので、山梨の冬を十分にお楽しみいただけたらと思っています。手の外科を専門としている先生方に加えて日常診療で幅広い外傷・疾患を診断・治療されている多くの整形外科医の方々の参加を期待しております。

第20回東日本手の外科研究会
会長 浜田良機

第 21 回東日本手の外科研究会

前任の平澤精一教授が、第 10 回の本研究会を担当されてから 10 年の歳月が経ち、この度、第 21 回東日本手の外科研究会の会長にご指名いただき、大変光栄と存じております。会期は、平成 19 年 1 月 26 日（金）、開催場所は高輪プリンスホテルを予定しております。特別講演、ランチ・セミナー 2 題、イブニングレクチャー 1 題、懇親会を企画しております。シンポジウム、主題については、高齢社会が背景にあり、一部基礎的口演も取り入れて、手の外科でしばしば問題となる疾患を総括的に扱いたく検討しています。1 月下旬の東京は澄みきった青空に、遠くは富士山も展望でき、会場も品川駅の向かいであり、アクセスも便利かと思えます。是非、多くの先生方がご参加いただけることを希望しております。

第 21 回東日本手の外科研究会
会長 水谷 一裕

運営委員会から

以下に平成 17 年 2 月 10 日に開催されました運営委員会の議事を中心に記載いたします。

1. 第 19 回東日本手の外科研究会 平成 17 年 2 月 11 日、第 19 回東日本手の外科研究会が落合直之会長（筑波大学）の主催で都市センターホテルで開催されました。参加者は約 350 名で盛会裡に無事終了いたしました。
2. 会員動向 新入会は 54 名で、合計 780 名となりました。
3. 次期 / 次々期会長の承認 次期会長に浜田良機（山梨大学）、次々期会長に水谷一裕（東邦大学第二整形外科）が承認されました。会期は第 20 回が平成 18 年 2 月 10 日、第 21 回が平成 19 年 1 月 26 日の予定です。
4. 運営委員の辞退と任期満了に伴う再任 任期終了の 19 名の委員（二見俊郎、藤 哲、平山隆三、富田泰次、別府諸兄、岡 義範、荻野利彦、坂田悍教、水谷一裕、伊藤恵康、落合直之、佐々木孝、柴田 実、長岡正宏、西田 淳、薄井正道、瀧川宗一郎、石突正文、根本孝一）の内、会則第 14 条 2 項により再任できない富田委員を除く 18 名が再任されました。
5. 新名誉会員の推薦、承認 富田泰次監事が新名誉会員となりました。
6. 監事の交代 荻野利彦前会長が監事になりました。
7. 会則の改訂 監事の選出方法につき会則が一部改訂となりました。
 - 1) 運営委員が監事を務め、監事の任期(2 年)を終えた場合、本人が希望すれば運営委員に復帰できること
 - 2) 監事の推薦にあたっては、運営委員が 2 年の任期を終える際に、監事就任の意思を会長が確認すること
 - 3) 監事は、会長経験者が望ましいこと
8. その他
事務局から、医師以外の方の入会希望が報告され、討議した結果、いろいろな問題もあるため浜田次期会長を中心に検討することといたしました。

事務局

東日本手の外科研究会事務局

〒468-0063 名古屋市天白区音聞山 1013 有限会社ヒズ・ブレイン内
TEL 052-836-3511 / FAX 052-836-3510 E-mail ejhand@jssh.gr.jp
URL <http://www.jssh.gr.jp/ejhand/>